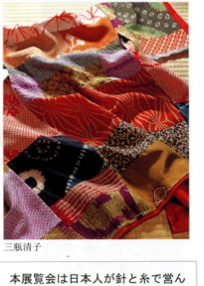
ものを大切にして繰り返し使うこころ。「繕い」「接ぎ」「繕う」という行為。かたわらにいつも針箱があり、身につけるもの、暮らしの一切を手仕事によって作り上げてきた人々の営みは現在では遠のいてしまったかのように感じられます。かつては生まれた子が丈夫に育つように、家族が暖かく暮らせるように、戦争に行く子が無事に帰るように、女性の手仕事は常に「母の祈り」とともにありました。母の手は貴重な布をやりくりして家族に必要なものを作り上げます。そこには機能とデザインを兼ね備えた暮らしの知恵が凝縮されていました。


三駄清子

池晶子　撮影：櫻井丈士

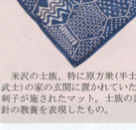
遠藤きよ子

高橋まゆみ

本展覧会は日本人が針と糸で営んできたくらしを一針一針に込められた精神とともに「母の手」の視点で紹介します。そしてその心を受け継ぐ、現代の刺し子、縞縫い、刺繍、パッチワークキルト等の作家の、手仕事から派生し、世界からも注目される創意に溢れた作品も紹介します。

当地米沢に残る資料や、平成21年度米沢市功労者の遠藤きよ子氏をはじめとする地元で活躍する作家の作品も展示いたします。

花瓶市　所蔵：米沢民藝館



米沢の土族、特に原方衆(半士半農の武士)の家の玄関に置かれていた精巧な刺子が施されたマット。土族の妻の糸針の教養を表現したもの。

主な出品作家・出品館

安達キク、池晶子、遠藤きよ子、大西由紀子
三瓶清子、高橋まゆみ、滝川康子、中嶋朱実
村田トモ子、米沢民藝館
財団法人　農村文化研究所　置賜民俗資料館

■ギャラリートーク
（当館学芸員による展示解説）
7月24日（土）14:00～　企画展示室
※要入場料

関連事業

●和の心
「刺し子入門編」講師：遠藤きよ子氏
7/25(日)・7/31(土)・8/21(土)・9/4(土)・9/12(日)
各10:00～　※それぞれ内容は同じです。
ご希望の日時でお申し込みください。
対象：小学生以上20名程度　参加費：500円
＊募集開始6/28(月)

●大人の鑑賞の時間
「母の手に込められた思いを読み解く」
8/6(金)19:00　企画展示室
対象：高校生以上20名　参加費：500円
＊募集開始7/7(水)

●アウトリーチ「米沢民藝館探訪」
8/22(日)10:00
対象：小学生以上20名　参加費：500円
＊募集開始7/21(水)

■観覧料

| 種別 | 母の手のみ | 常設とセット | 常設のみ |
|---|---|---|---|
| 一般 | 400（320） | 600（480） | 400（320） |
| 高大 | 300（240） | 400（320） | 200（140） |
| 小中 | 200（160） | 250（200） | 100（60） |

※（ ）20名以上の団体料金

米沢駅
西口
R13
R121
至福島
至山形
至長井
至長井
至長井